

医療者対象ワークショップ
患者に学ぶ「がんと性」 募集要項

1. プログラム概要

1) 目的

がん経験のある当事者の体験談をもとに、ともに考え、学ぶことにより、がんの進行やがん治療に伴い影響を受ける性(セクシュアリティ)の問題に関して、医療者として理解を深め、明日から役立つ支援を理解し行動できるようになる。

2) 目標

- ・医療者として患者やその先のパートナーの立場で考える視点を持ち、患者・パートナーのために考え、行動できるようになる
- ・参加者同士が問題点や課題を議論し、実際の支援につなげるために何ができるのかを導き出すことができる
- ・参加をきっかけに自施設での「がんと性」への支援の輪につながる

3) イベントコンテンツ

イベント名	メインタイトル	患者に学ぶ「がんと性」
	サブタイトル	明日からは躊躇しない！がんのセクシュアリティ支援
日時	日程	2023年3月25日(土)
	時間	13:00-15:30(～16:00 アフターフリートーク)
場所	開催場所	オンライン(zoom ミーティング)
対象	定員	30名(1G6名×5G)
	参加費	無料
	参加対象	医療従事者(1月21日(土)開催セミナー参加者優先)
開催形態	主催	認定NPO 法人キャンサーネットジャパン
	協力	公益財団法人 日本対がん協会
受付方法	専用申込フォーム	https://forms.gle/j2UkYtECMJw8EcQL9

4) イベントコンテンツタイムスケジュール

コンテンツ	時間		内容
オープニング	13:00-13:15	15min	導入(進め方の説明・監修者挨拶)
GW①	13:15-14:00	45min	ゲスト患者さんの体験を聞き、理解を深める GW グループ(各G:ゲスト患者1名+参加者6名+援助者1名)に分かれて、自己紹介後、患者さんの体験談を聞き、質疑応答で理解を深める
休憩	14:00-14:05	5min	休憩
GW②	14:05-14:45	40min	気づきを得て明日からの支援につなげる GW 問題点は何か・何ができるか・何から始めるか
全体発表	14:45-15:15	30min	各グループの代表者から発表と質疑応答
ゲストの一言	15:15-15:25	10min	ゲスト患者さんからのコメント(一言ずつ)
クロージング	15:25-15:30	5min	監修者からのコメント
終了	15:30		
アフタートーク	15:30-16:00	30min	フリートーク(任意)

2. 申し込み案内

1) 参加資格

現在、医療現場でがん診療の実務にあたっている医療従事者

2) 募集人数

30名(応募者多数の場合は、選考あり)

【応募条件】

- ※ 1/21 開催「もっと話そうがんと性のこと」への参加あるいはアーカイブ動画を視聴していること
アーカイブ動画視聴申込⇒ <https://forms.gle/hvspyghK3AFtPm1g9>
- ※ PCからの参加が可能な方(グループワークや参加後のサンクスシートの提出のため)
- ※ 参加後のサンクスシート(ゲスト患者さんや参加者への感想やメッセージ)をご提出いただける方
- ※ 参加時の顔出しおよび氏名・所属を zoom 上で表記可能な方(参加する医療者間の交流も目的の一つと位置付けています)
- ※ 無断キャンセルをされない方

3) 参加費

無料(助成金事業のため無料でご参加いただけます)

- ※今後の活動支援のご寄付にご協力ください(任意) <https://www.cancernet.jp/donation>

4) 申込期間

2023年2月1日(水)～2月20日(月) **2月28日(火)まで延長中!**

- ※ 参加の可否については3月1日(水)までにメールでご連絡します

5) 参加申込みフォーム

<https://forms.gle/j2UkYtECMJw8EcQL9>

3. 背景

【日本におけるがんと性(セクシュアリティ)の現状】

近代医療の飛躍的な進歩により、がんを克服し再び社会で活躍できるようになりつつあります。

そのような中、働く世代のがん患者への就労支援を含めた社会的支援は重点的に取り組まれている一方、がん患者の治療に伴う変化が性(セクシュアリティ)へ及ぼす影響に関する情報は圧倒的に少ない状況です。

厚生省が定めた「がん対策推進基本計画」(第3期:2017-2022年度)では、がん患者等の就労を含めた社会的な問題(サバイバーシップ支援)において、「診療早期における生殖機能の温存、後遺症及び性生活(セクシュアリティ)に関する相談支援並びに情報提供の体制が構築されていないこと等が指摘されているものの十分な検討がなされていない」と課題認識されたものの、具体的に取り組むべき施策は盛り込まれていません。

【医療現場でのがん患者・パートナーへのセクシュアリティ支援の実情】

認定 NPO 法人がんネットワークジャパンでは小児を含むがん診療連携拠点病院の外来化学療法室勤務者を中心に、日頃、がん患者・パートナーから直接相談を受けたり、支援をしたりしている医療職者を対象にアンケート調査を実施しました。2022/2/1～2022/9/20 の期間中に得られた 104 施設の回答についてウェブサイトで公開中。「がんやがん治療に伴う性生活に関する支援は必要だと感じていますか」の問いに、91.3%が「とても必要」あるいは「必要」と回答する一方で、「がんやがん治療に伴う性生活への影響について支援をした事があり

ますか」という問いに対し、「該当者へはいつもしている」への回答は 7.7%にとどまり、「たまにしている」と回答した 31.7%と合わせても 4 割に満たない結果でした。

がん患者やそのパートナーに対して性生活への支援を困難にしている理由として、「説明・支援できる知識がない」「話をするきっかけがない」「自分自身の羞恥心があり踏み込めない」といったものがあげられました。

アンケート調査の結果：https://www.cancernet.jp/wp-content/uploads/2022/09/sexuality_2022quest.pdf

【患者・パートナーのニーズ】

2021 年に認定 NPO 法人がんネットジャパンの ML 登録者を対象に WEB 調査を実施。主な調査項目は、がん治療後の性生活の変化と性機能障害の有無とその内容、性に関する相談経験の有無と支援に関するニーズとし、470 名(男性 156 名、女性 314 名)のがん経験者より有効回答を得ました。結果からは、性生活を継続しているがん経験者の約 3 割で性機能への影響が生じていることが明らかになり、セクシュアリティに関して「相談が誰にもできなかった」と回答したのは 34.9%で、8 割以上が支援の不十分さを感じていました。支援の在り方については、医療者からの情報提供のみではなく、半数以上が経験者の体験談や情報共有を希望していました。(論文発表予定のため、現時点で結果は未公開)。

【CNJ でのこれまでの取り組み】

事業開始時に実施したニーズ調査の結果を受け、これまでに以下のような取り組みを実施してきた。

- ・ ウェブサイト「もっと知ってほしいがんと生活のこと」内に「がんと性」を新設し関連する情報を提供
<https://www.cancernet.jp/seikatsu/sexuality/>
- ・ 各種講演会・インタビュー・対談の実施と公開
<https://www.cancernet.jp/seikatsu/sexual/themes/story/>
- ・ ちょっと言いにくい「がんと性」にまつわる表現を LINE スタンプでサポート
<https://store.line.me/stickershop/product/14811314/ja?from=sticker>
- ・ チャット形式の無料相談(アプリ)
<https://www.cancernet.jp/seikatsu/counselingroom/>
- ・ がんやがん治療による性生活への影響について、無意識に諦めていたり、自分には権利が無いと思いついてしまったりしている患者に対し、自分にも権利があること、安心して相談できることに気付いてもらうきっかけとするために、アニメーション動画を制作、公開
<https://www.cancernet.jp/seikatsu/anime/>
- ・ 医療現場での患者支援用ツールとした小冊子「もっと知ってほしいがんと性にまつわること」の制作
<https://www.cancernet.jp/cands>